

町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



町田市議会議員・納税者主権

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守連合会派室



保守連合会派所属議員

## 地域センターまつり開催

「鶴川市民センターまつり」の開会式に出席しました。鶴川駅前には「鶴川駅前連絡所：和光大学ポプリホール鶴川」が別途新たに設置されていますが、60年前に町田市が発足して鶴川支所が置かれて以降、この地域拠点でまつりは開催されておらず、今回、第1回の鶴川市民センターまつりが初めて開催されたものでした。何度か、この「鶴川市民センター」で歌や踊りを鑑賞した記憶があったのですが、別ものでした。



演目：画像を落として撮影しています

こうした地域センター、コミュニティセンターにおける「まつり」は、施設利用者が実行委員会を作って開催されています。今回の「鶴川市民センター」も同様でした。舞台発表部門のレパートリーは歌、踊り、演奏、ダンス、詩吟など広範囲にわたっており、出演者の年齢は幼稚園・保育園児から青少年、壮年・老年者まで幅広い利用者があるものです。成瀬駅前センターにおいても、今回、第1回目が開催されたわけですが、見学する機会を失いました。他の施設を含めて、自主的な取り組みに関心を持って見学したいと思います。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

## 商店街（中心市街地&地域）の相違点

「町田市中央地区商業振興対策協議会」（中対協）と「町田市商店会連合会」（商連）の会合に出席し、それぞれに挨拶しました。



「中対協：石井幸隆 幹事長」は、町田市の中心市街地の商店街と複数の核店舗事業所が加入するもので、商都：町田市を象徴する団体です。他方で、「商連：林 伸光 会長」は、中心市街地に限らず、町田市内の各駅前展開する商店街、あるいは団地や住宅街の一角などに連なる商店街によって構成されています。

「中対協」においては、郊外のショッピングモールやネット通販がライバルになっています。町田市が町田駅界隈の将来像をどのように描くのが大きなテーマであり、当面、大型開発の手立てはないと見て、そのソフト的な改善の処方箋が必要ではないでしょうか。他方の「商連」の大半の参加商店街や個別店舗は、その大半が沈滞化に向かっているのが実情であり、行政が主導したイベントで集客を図るのは、すでに経営者の体力を見ても限界が来ています。シンプルに、物やサービスを販売する方向に転換する時代と考えています。

## 生産年齢人口定義が崩壊

旧来、労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層として、それを「生産年齢人口」と定義し、その他の年齢層を被扶養人口と称してきました。政府の作成文書でその用語が使われるために、町田市のような地方自治体においても、これを使用する資料説明を行ってきました。私は、それを一貫して批判してきました。15歳からの就業というのは、実際どれくらいあるのか、あるいは15歳が就業すると児童・生徒の虐待ともみなされる時代ではないのかと批判し、他方で65歳を超えて就労する人が多数いるのではないかという側面も絶えず強調してきました。



医療関係のセミナーにも出席し、聴講

ここに来て、政府は大きな方向転換を図り、就業年齢を70歳に延長する考え方を新たに示すものですが、年金支給年齢を70歳に引き上げることを主眼にしています。年金支給を減らしたいとするのが意図でしょうが、65歳以上の人にも所得機会をもたらす、総体として被扶養人口を大幅に削減するものとなるでしょう。他方で、就労年齢の拡大によって、健康な生活を送る人が大幅に増え、高齢者医療の増大も軽減できるものと思います。

## 南多摩5市議会議長会の課題

南多摩5市（八王子市、日野市、多摩市、稲城市、および町田市）の議長会では、例年、沿線鉄道事業者との面談、その改善、利便性の向上を求める申し入れを行っています。対象事業者として、京王電鉄、多摩都市モノレール、八王子支社を訪問し、小田急電鉄、東急電鉄、JR東日本横浜支社に文書で要望してきたものですが、その中で、JR東日本横浜支社の要望してきたもののみ返答がありませんでした。

JR町田駅や成瀬駅は、JR東日本横浜支社の管轄であり、その要望対象社として欠かせないものでしたが、改めてその要望を確認し、その目的実現を図りたいと思っています。

なぜなら、私たちの要望は、各市議会の全会派、全議員の要望が調整されて、まとまった意見として作成した要望であって、恣意的に議長が鉄道機関に要請しているわけではないからです。自分の議長責務として、このJR東日本横浜支社からの回答を求める仕事に取り組みたいと思っています。



南多摩5市議長会の全メンバーで要望

★政党無所属・市議会は保守連合 **市議会議長として活動中**

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信

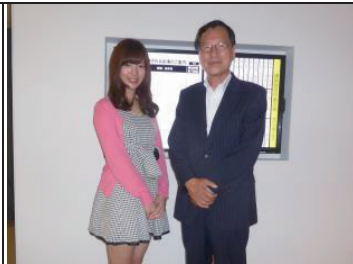
町田市議会議員 **2期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ  
右上は新規の  
ビジュアルサイト



インターン生募集中

## 研修レポート①田口幸典

1月26日金曜日、吉田つとむ市議会議員と初めて対面しました。1週間ほど前、成瀬駅で吉田議員の「市議会報告」を受け取り、インターンシップに応募しました。書類を送った後、面接を行いました。面接を喫茶店で行うというのは驚きましたが、フランクに緊張せず受け答えできたのは吉田議員の人柄と喫茶店という場所のおかげだったのではないかと思います。



私は将来、国会議員になるのが夢なので政治家コースを志望しましたが、社会勉強もしたいと思っていたところ、コースの垣根を越えて社会勉強もさせてもらえるというところに魅力を感じました。面接は普通に会話をしている中で私がしたいことを拾い上げていってくれるようなスタンスでした。そして、私が政治家希望なので、要所要所政治の仕組みなどについても教えてもらいました。以前、インターンシップを行った人の中では政治家になった方もいらっしゃるそうです。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

もちろん、今すぐなれるとは思いませんが、私もその流れに乗りたいと思います。今後のことでは、吉田つとむにできるだけ多くの場所に同行して、その活動をお手伝いしたいと思っています。

また、色々な場所へ訪問できれば良いなと思っています。今回のインターンシップはまだ、スタートラインに立ったばかりでこれからどうなるかわかりませんが、非常にワクワクしています。是非、実りのあるインターンシップにしたいと思います。第一弾活動報告でした。

青山学院大学新4年生 田口幸典(第41期生)

「インターン募集」の文字が入った私の「市議会報告」を見て、田口幸典さんが応募してきました。今回の田口幸典さんの場合は、「自身が政治家になりたい」、ただし、その前に社会勉強をしたいとする、極めて健全な思考と思いました。実社会を確かめた上で、あるいはその経験を生かして政治家になるのが常道ではないかと理解しています。もとより、私の立ち位置が一番と思いががるようなことはありません。ただし、政党に所属せず、さらに上級議員(国会議員や都道府県議員)、あるいは業界団体などなど、さらには地元名士の後ろ盾が一切無く、また、それらに束縛されない立場で自由に判断、行動できることを私の特徴にし、かつ、これを誇りにしています。

そうするためには、自分自身は個人の方々と幅広い付き合いをしています。ぜひ、これからのインターンシップの体験を通じて、自分を育てることに励んでください。そうした意味で、田口さんの目的に沿った多岐にわたる訪問先を設定するよう心掛けます。

町田市議会議員・納税者主権

# 吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会  
〒194-8520  
東京都町田市  
森野2-2-22  
☎042-724-2171  
保守連合会派室



市議会の傍聴・見学

## 研修レポート⑦村上 真由

今回は一般企業を訪問しました。その会社の役員の方にお会いし、次に社長の但野様と面談の機会を作っていただいたものです。

その訪れた会社は、相模原市内に本社がある「株式会社 エクシオジャパン」という名称でしたが、電気設備の保守点検・不動産・介護福祉・保険業を営業種目とする幅広いものでした。この「エクシオジャパン」は、現在の但野社長が、若くして電気設備の保守点検の企業を創業し、建物の管理をする関係で、不動産・保険業の分野にも事業を拡大されたと言うものでした。その後、建物をグループホームとする介護分野の事業を積極的に拡大され、現在は社員 345 名に達する企業に成長したと言うものでした。私が訪れた際には、新しい本社ビルができて、その各事業部門がそのビルに入居したばかりの時期でした。



吉田議員との関係では、吉田議員が代表者として主催するピアノデュオ「クトロヴァツコンサート」の開催では、但野社長が共催

の代表者を務められているとのことでした。その「クトロヴァツコンサート」の2014年開催時は、相模原グリーンホールで開催され、但野社長が主催者とされたとのことでした。次回は2018年9月開催というのに、すでに、広告宣伝の分野を中心にその多くの準備が進められていることが、二人の話を通じて知ることができました。



その但野社長に直接お伺いした話では、卒業後、関係分野の企業に就職後、すぐに、個人事業主となって独立し、たちまち企業化したとのことでした。「創業」や「起業」がそのように進められる人というのは、個人的な才能なのか、それとも努力すれば可能なのか、今回の話を伺っただけではわかりませんでした。さらに、現在の事業分野はそれぞれが全く異なった職種に感じましたが、会社の拡大の方法はそれまでの取り組み分野を関連づけて、次々に拡大された話によく理解できました。

私が「起業」とすれば、今回の但野社長との面談で学んだことを生かしたいと思いました。

玉川大学3年生 村上 真由(第40期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)